

報告書全体について

- 何が問題なのか現状の課題について記載して欲しい。その上で、誰が何をしないといけないというアクションが重要。誰がいつまでに何をするのかできるだけ明確に記載すべき(秋山構成員)
- 二次利用など、タスクフォースで意見の出た、今後解決すべき課題があるということも記載して欲しい(中島構成員)

「どこでもMY病院」構想の実現

- 患者にとってのメリットについて、過去の資料をもとに作成していると思うが、紙か電子媒体かの区別ができていない。なぜ、電子媒体なのかというところも書いていただいたほうがよいのではないか(小田臨時構成員)
- どこでもMY病院の将来の姿について、将来に向けた過程であり、「シームレスな地域医療連携」と2つはばらばらではなく、いずれITを利用してよりよい連携が実現できるというニュアンスを入れるべき(武藤構成員)
- 「どこでもMY病院」構想で取り扱う情報について患者の声を聞くべき。(秋山構成員)

シームレスな地域連携医療の実現

- 本日(第9回)議論した、アーキテクチャ論についても記載して欲しい(小倉主査)

レセプト情報等の活用による医療の効率化

- 厚労省の有識者会議で作成しているガイドラインは、ナショナルDBがターゲット。保険者、自治体の利活用はデータの持ち方が違うので、当てはまらないのではないか。そのことがわかるよう記載してほしい(稲垣臨時構成員)